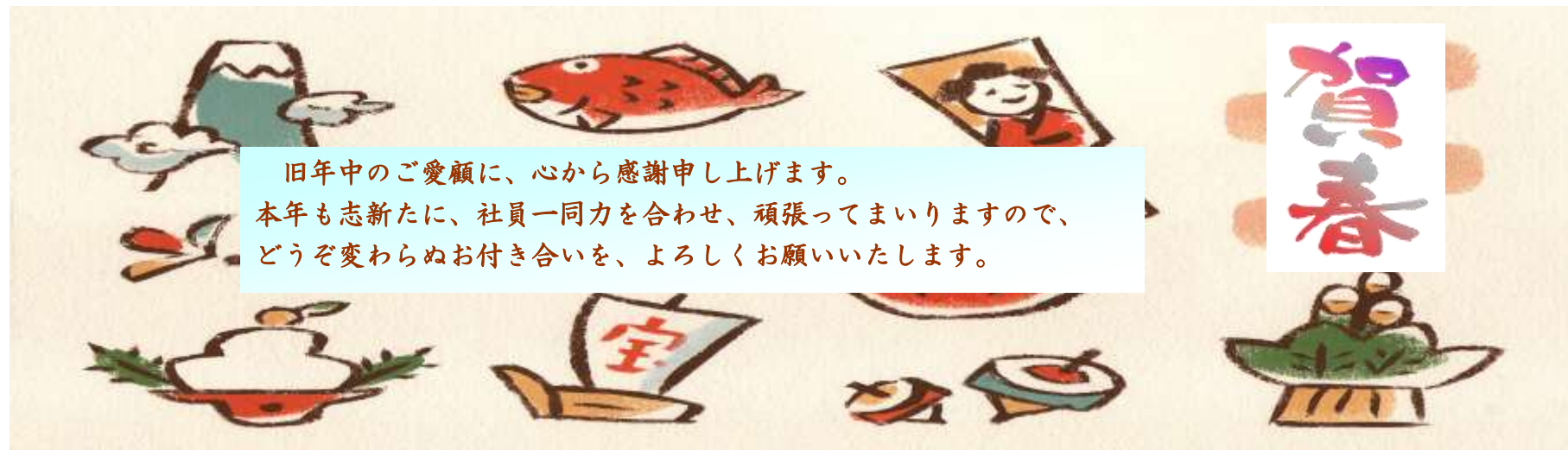


# ライオン通信

<URL> <http://www.kooge.jp/> <e-mail> [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)

Vol.25 平成 18 年 1 月 10 日発行 (月刊誌)

郡家コンクリート工業株式会社  
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1  
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614



旧年中のご愛顧に、心から感謝申し上げます。  
本年も志新たに、社員一同力を合わせ、頑張ってまいりますので、  
どうぞ変わらぬお付き合いを、よろしくお願いいたします。

## 特集：最新・ベトナムセメント事情

昨年 11 月 16～20 日、1 年ぶりにベトナムに行ってきました。太平洋セメントの『中国地区太平洋セメント生コン会』の研修で、ギゾンセメントのホーチミン・サービスステーション視察が目的です。(ちなみに、サービスステーションとは工場からセメントを運んできて貯蔵し、そこから販売店へ運ぶための施設です) 今回はベトナムセメント事情について報告をいたします。

### 1. 会社概要

商号	ギゾンセメント(Nghi Son Cement Co)
事業所	工場 Thanh 省 事務所 ハノイ、ホーチミン
合弁形態	日本側 65% (太平洋セメント 45.5%) (三菱マテリアル 19.5%) ベトナム側 35% (ベトナムセメント総公社)
投資認可額	USD622M(海外よりの民間最大投資)
従業員数	450 名(内日本人 32 名)、 上記の内ホーチミン支店 49 名(同 4 名)
主要設備	セメント製造ライン 1 系統 215 万t/年 SS 17,000tサイロ 2 基、セメント専用タンカー 2 隻



ホーチミン・サービスステーション全景

### 2. ベトナムセメント市場の概要

昨年需要 2,600 万t、今年 3,000 万t  
(ギゾンセメント販売実績 昨年 220 万t、今年見込み 220 万t)

GDP7%を超える経済成長が 2000 年以来続き、民間住宅投資(セメント需要の 6 割)を中心に需要拡大

供給 急速な需要拡大に対し国内供給力が追いつかず、不足分をクリンカ(半製品)の輸入で対応

市況 北部 5,800～6,000 円/t  
南部 乾季 7,000～7,600 円/t  
雨季 6,800～7,200 円/t

※インフレ抑制に動いている政府は値上げ一時禁止を「首相決定」や「指導」しているが多くのセメント会社が値上げを実施している

回収 北部では「前払い」南部でサイト 2 日～最長 15 日



◆特集つづきます…



ホーチミン空港 新築工事(日本からの ODA)

### 3. 太平洋セメントベトナムセメント事業の特徴

#### 基本事業方針

生産は主に、石灰石資源が豊富な北部で行われている  
販売は、セメント工場がなく市況の高い南部で重点的にされている

#### 販売政策

袋セメント比率 93%でありセメントが「消費財」的性格を持っているが、「日本性高品質」を生コン、現場プラント(日本からの ODA など)市場に販売する(安売り競争を避けるため)



案内をしてくださった

ギソンセメントホーチミン支店 浅見氏

### 4. 生コン事情

**工場数** ハノイ 50 工場、ホーチミン 50 工場程度だが、工場は増え続けている(この 2 年間で 30 工場増加)

**売 価** 4,000 円/m<sup>3</sup>程度(材料費 3,200 円程度)

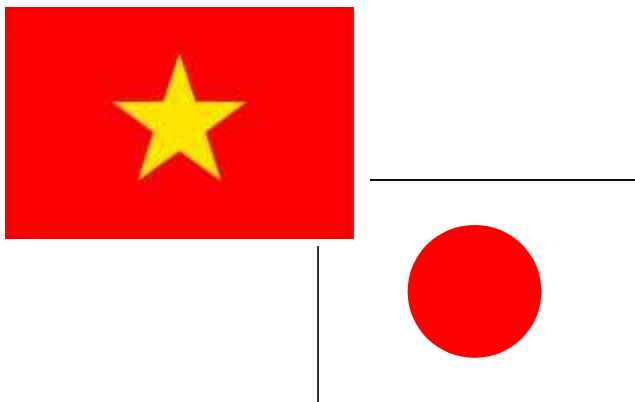
**プラント概要** 日本的視点で見ると極めて簡単な設備  
ドライが主流  
24 時間操業(100 名以上/1 プラント)

### 5. おわりに

実は、昨年ベトナムで生コン工場を持ちたいと思いましたが、結局いろいろなリスクが多すぎて見送りました。

今回 1 年ぶりにベトナムを訪れましたが、その発展には目を見張るばかりでした。

旺盛な需要に供給が追いつかないという恵まれた市況の中でも、国際メジャーとしてのぎを削りながら、ギソンセメントの日本人社員たちが、羨ましいほどエネルギーに働いていたのが、とても印象に残っています。

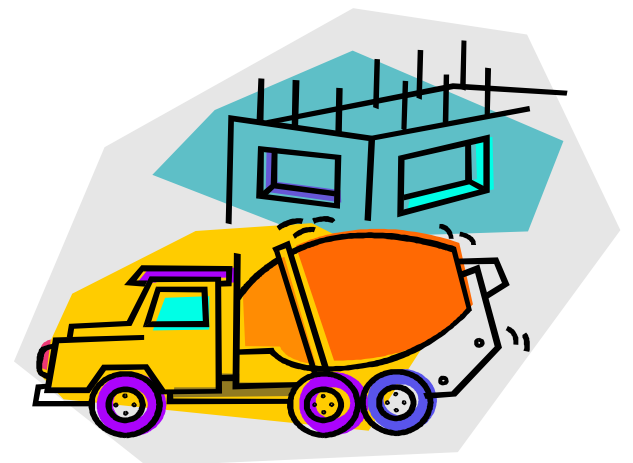


聞くとところによると、ギソンセメントは利益率が 40%近くもあり、国内外の太平洋セメントグループでもトップクラスだそうです。

今後の課題は絶対的な供給不足をどう解消するかで、日本国内とは大きな違いですね。

日本では我々の建設関連業種は「冬の時代」と言われていますが、広い視野と柔軟な発想で、ぜひ「ピンチをチャンスに変えて」いきたいものです。

今年もお互いがんばっていきましょう。







# しおちゃんの製品紹介コーナー

## ◆◆◆◆ 新型テールアルメ テラプラス ◆◆◆◆

今月は新型テールアルメ「テラプラス」の製品情報をお届けします。工期短縮を可能にした「スーパーテールアルメ(テラプラス)工法」を採用した、期待の新製品です。現在お伝えできる最新情報を紹介しますので、この機会にぜひご検討ください。

### 開発コンセプトおよび製品

- (1) **デザイン性の向上** : 景観に配慮した新たなテールアルメの創出  
プレデザイン化を標準として、様々なデザインに対応予定。  
シンプルな形状化により、お客様の要望に応じたデザインの提供が可能となります。
- (2) **施工性の向上** : 施工の省力化 ならびに工期短縮への挑戦
  - ① パネル大型化により施工法が向上: 従来型のコンクリートスキンに比べ面積が 1.5 倍!
  - ② ハイフリクションタイプの幅広ストリップの適用と適正配置化による省資材化および取付け延長の減少。
  - ③ 施工盛土層厚を従来の 25cm から 30cm へ。  
※平坦地での適用が施工性の有効性を十分に発揮されと考えられます。
- (3) **オールプレキャスト化** : 更なる省資材化・施工性向上への挑戦
  - ① 天端の笠コンクリートも将来的にはプレキャスト化へ  
足場レス、施工期間の短縮へ。
  - ② オールプレキャスト化による省資材化・建設廃材の減少に挑戦



シンプル形状・シンプル部材・シンプル施工による新たなデザインテールアルメを提案しています!

### テールアルメ工法とは



テールアルメ工法とは、フランスで 1963 年に開発された、鋼材を使用して土を補強し、垂直な壁面を持つ盛土を構築する工法です。日本では、1972 年に日本道路公団で最初に使用されて以来、33 年の実績を有し、これまでも様々な部材改良による機能向上やコストダウンが図られて、現在では一般工法として定着しております。施行実績としては、国内導入以来、逐次施工事例を増やし、2005 年 8 月末までの累積施工量は、約 800 万 m<sup>2</sup>(約 22,000 件)に上る。

テールアルメとは、フランス語で「Tere(土)Armee(補強)」を意味し、英語では Reinforced Earth と訳されます。日本語では「補強土」と呼ばれ、近年土木業界では「補強土工法」という 1 つのジャンルが確立されてきました。

土の中に補強材を敷き込み、盛土全体を補強するという概念は、従来のブロック積み工法や擁壁(コンクリートなどによる土留め)工法との概念とは異なり、全く新しい考え方であったため、国内でその有効性が認められるまでには、長い年月がかかりました。しかしながら、テールアルメ工法の普及が原動力になり、「補強土工法」は多くの盛土計画の中で、必ず検討、吟味されるようになりました。

テールアルメ工法に用いられる主な材料は、コンクリートやメタル製の壁面材と、土を補強する補強材(幅 6cm の带状鋼材)そして土の 3 つです。盛土の一定の高さ毎(75cm 標準)に補強材を敷き込んで、その上に土を盛り立て、ローラー等でしっかりと占め固めた上で再び補強材を敷き、盛土を繰り返して、高い場合は約 20m に及ぶ垂直な盛土を完成することができます。

## ◆製品紹介コーナーつづきます…

## 製品概要

## (1) コンクリートスキン

フルサイズスキン基本寸法は「幅 2700mm×高さ 1200mm×厚さ 140mm」

ストリップの取付け本数は4～8本。

スキン形状には、ハーフタイプ・幅異形タイプ・天端斜め異形タイプを基本仕様にラインナップ。

- ① 基本寸法 : 2700mm × 1200mm
- ② 補強材の取り付け本数 : 4, 5, 6, 7, 8 本
- ③ 補強材間隔 :  $\Delta H=0.6m$ 、 $\Delta B=1.35$ 、 $0.9$ 、 $0.675m$
- ④ コンクリートの設計規準強度  $f'_{ck}=30N/mm^2$

## (2) ストリップ

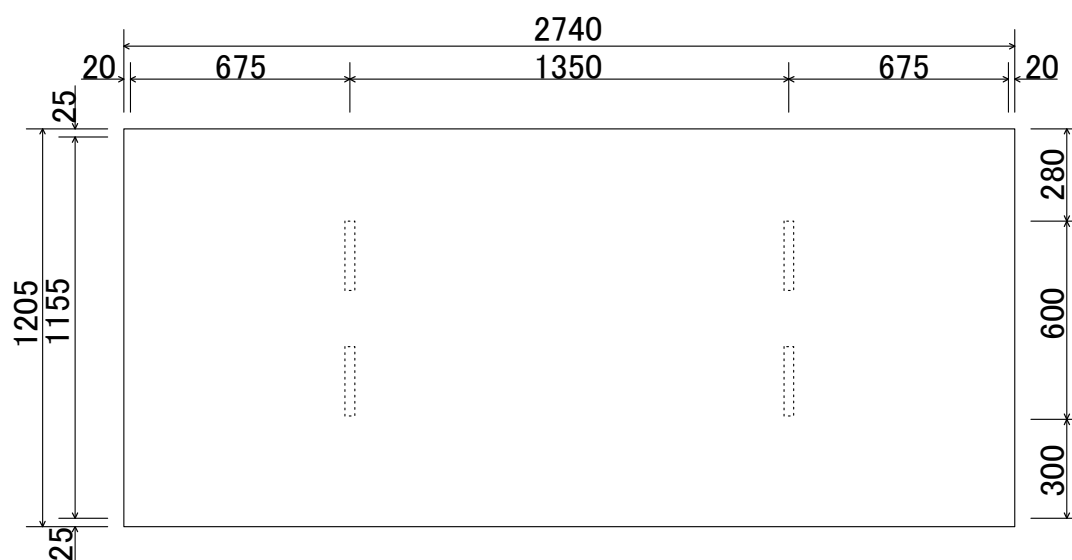
ストリップは、2種類のストリップを適用。

幅広ストリップ :  $\Delta B=1.35m$ のときに使用

高強度ストリップ :  $\Delta B < 1.35m$ のときに使用



## 製品図



※A4(基本サイズ)

◆ テラプラス をご紹介しました  次回は ボックスカルバート をご紹介します。お楽しみに ◆

## ◆ 製品情報はホームページでもご覧ください

JFE 商事さま テラプラスのページ⇒ <http://www.jfe-shoji.co.jp/news/050920.html>

## ◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は…

郡家コンクリート工業株式会社 〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷206-1

TEL : (0858)72-1154 FAX : (0858)72-1614 E-mail : [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)

**直通電話 0858-73-0500**

## ■ □ 編集後記 □ ■

新年おめでとうございます。2006年もいよいよ幕を明けました。

皆様のおかげでこのライオン通信も3年目を迎えることができ、心よりお礼申し上げます。

今年はイヌ年ですが、英語で「ドッグ・イヤー」とはイヌが人間の7倍の早さで歳をとることから、通常7年かかるような変化が1年で起きてしまうことを指しているそうです。私たちを取り巻く環境も、凄くスピードが速くなっていることは皆さんも実感していらっしゃると思います。

私たちも「ドッグ・イヤー」で変わる環境の変化に対応し、知恵と工夫をして本年を飛躍の年としましょう。

なお、今月は「会計検査情報」は休みでしたが、来月から昨年11月に発行された「改訂6版 公共工事と会計検査 (財団法人経済調査会 安芸忠夫・市川啓次郎著)」より最新情報を掲載しますのでどうぞお楽しみに。(山根)



<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)